

# 第5回東海交流フォーラム

## “食とくらしの未来をつくる！”

日時: 3月15日(日)

10時30分


～15時30分

会場: 生協生活文化会館

相次ぐ食品事件、世界的な金融危機、派遣切り・雇用不安、社会保障の不安など、くらしは今様々な不安の中にあり、大きな変化の中にあります。くらしが今どうなっているのか考え合い、いろいろな人とつながりや事例を持ち寄って、未来の見通しを探り合っていけるよう、「食」からくらしを見、5つの「つながり」の場面ごとで、手がかりを見つけ合っていく東海交流フォーラムにぜひご参加ください。

主催 地域と協同の研究センター・東海交流フォーラム実行委員会

### プログラム(予定)

10:00	開場	生協生活文化会館は名古屋駅から地下鉄東山線山駅下車4番出口から歩いて2分です。
10:30	開会	<p><b>基調講演『食糧問題から見る日本と世界・そして私たちのくらし』</b>  <b>講師: 合瀬 宏毅 氏 (NHK解説委員)</b></p> <p>食料自給率40%(カロリーベース)の日本。耕作放棄地もあちこちに。担い手がない。日本の農業・農政は、今どうなっているの?日本へ食糧を輸出する世界の国々は?NHK解説委員として活躍される合瀬宏毅氏より、食糧問題から見る日本と世界についてお話いただきます。そして、消費者と生産者が手をつなぎ、地域全体で山間地の米作りを支援する宮城県大崎市での取り組み(鳴子プロジェクト)等を紹介いただきます。私たちのこれからの「食とくらし」を見つけましょう!</p> 
12:10	分科会の事例紹介	午後の5つの分科会での報告事例を紹介します。
12:20	食事	
13:00	5つの分科会(テーマ・内容の案です)	
	<p>くらしの中で見えてくること          生協の商品案内をみんなで見て、家族のことを!          「食まるファイブ」に出会った子供たちは?</p> <p>くらしを支える地域の中で生まれていること          三重で取り組んだ冬水田んぼ!          20年休耕田のところでの稲作は大変なことがいっぱいでした。でも!</p>	<p>県や東海のつながりの中で発見するくらしの背景          三重の尾鷲・熊野地域でくらしのすけあいの会が!          産地と消費地のネットワークでこんなことが!</p>
		<p>食とくらし、日本と世界が向かう先を考える          欧米の農業ってどうなっているのでしょうか?          COP10が名古屋で開かれるっていけど?</p> <p>協同をつくる人と仕事の意味、価値を発見する          生協を通じて、くらしはどう変わるのでしょうか?          みかわ市民生協では?南医療生協では?</p>
15:00	閉会	
<p>参加費 500円(当日いただきます。) 昼食500円(当日いただきます。) 託児(事前に申し込みください)</p>		